

第56回 宇都宮市環境審議会

- 1 開会
- 2 議事
 - ・「宇都宮の環境（環境状況報告書 令和8年度版）」について
 - ▶ 資料，別冊
- 3 その他
- 4 閉会

令和8年6月9日(火) 午前10時00分～午前11時30分
宇都宮市役所14階 14A会議室
環境部 環境創造課

委員名簿

◎:会長 ○:副会長

氏 名	役 職 等
大久保 順也	宇都宮市議会議員
小倉 久美	//
岩井 潤子	//
森嶋 佳織	作新学院大学女子短期大学部 講師
◎横尾 昇剛	宇都宮大学 教授
北浦 さおり	宇都宮共和大学 准教授
佐野 和美	帝京大学 リベラルアーツセンター 准教授
高梨 弘幸	栃木県地球温暖化防止活動推進 センター センター長
田代 昌継	宇都宮市医師会 理事

氏 名	役 職 等
半田 光隆	宇都宮農業協同組合 代表理事専務
福田 治久	宇都宮商工会議所 議員
町田 全功	宇都宮青年会議所 副理事長
○増渕 弘子	うつのみや環境行動フォーラム 理事
小林 紀夫	宇都宮市青少年育成市民会議 会長
小金澤 頼子	宇都宮市女性団体連絡協議会 副会長
大森 幹夫	宇都宮市自治会連合会 副会長
丹波 由紀夫	宇都宮地方気象台 次長
齊藤 好広	公募委員
中島 光	//

「宇都宮の環境(環境状況報告書 令和8年度版)」 について

◎ 趣 旨

「宇都宮市環境基本計画」等に掲げる取組について、令和7年度の達成状況等を「宇都宮の環境(環境状況報告書)」としてとりまとめたことから、その内容について報告するもの

○ 目 次

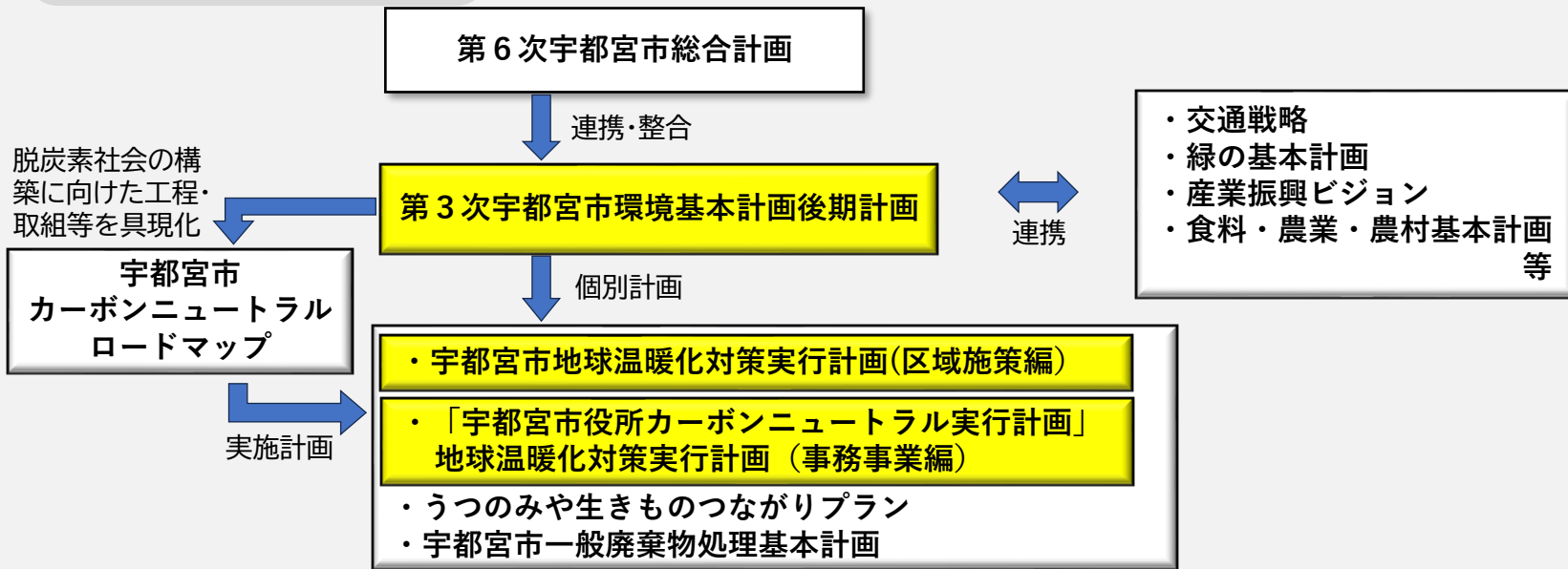
1 計画の位置づけ及び推進体制

2 「宇都宮の環境(環境状況報告書)」について ※令和7年度実績

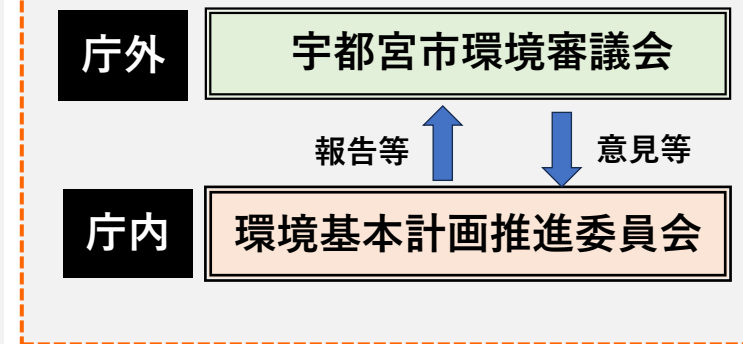
【参考】主体別の二酸化炭素排出量の推移(市民・事業者・行政)

1 計画の位置づけ及び推進体制

計画の位置づけ



推進体制



〇評価内容

環境基本計画 (令和3年3月策定)
・環境基本計画の各分野における基本施策の達成状況…【A】

地球温暖化対策実行計画(区域施策編) (令和6年2月策定)
・区域施策編における施策指標等の進捗…【B】

「宇都宮市役所カーボンニュートラル実行計画」地球温暖化対策実行計画(事務事業編) (令和6年2月策定)
・事務事業編における施策指標等の進捗…【C】

【A】【B】【C】:「宇都宮の環境(環境状況報告書 令和8年度版)」

令和8年度から「第4次環境基本計画」の計画期間となるが、今回は前計画である「第3次環境基本計画 後期計画」の計画最終年度(R7)の評価を実施

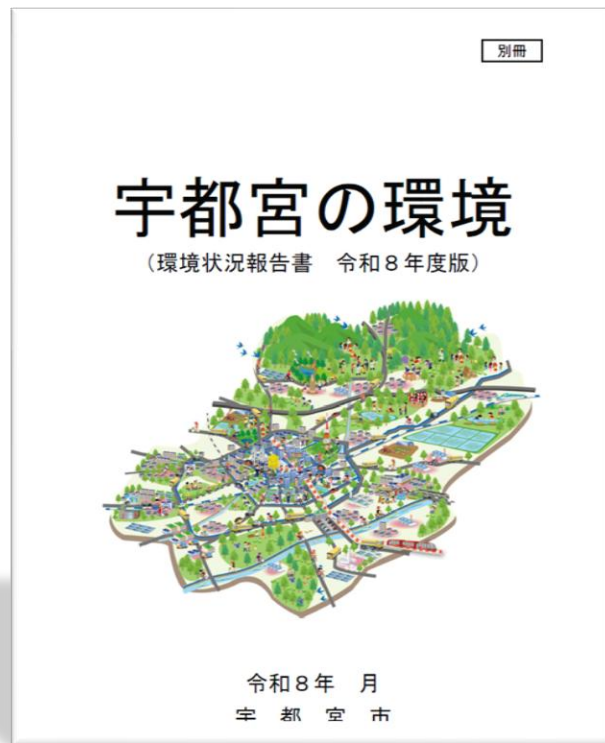
2 「宇都宮の環境(環境状況報告書)」について ※R7実績

(1) 概要

宇都宮市環境基本条例に基づき、宇都宮市環境基本計画等に掲げる計画の基本理念や目指す環境都市像の実現に向けた**取組の実施状況、指標の進捗状況等について点検を行い、毎年度の状況を報告書として取りまとめ、公表**するもの

【参考】宇都宮市環境基本条例（抄）

第19条 市長は、毎年度、環境の状況並びに環境の保全及び創造に関する施策の実施状況を明らかにした報告書を作成し、公表する。



2 「宇都宮の環境(環境状況報告書)」について ※R7実績

(2) 評価方法について

- ・「環境基本計画」については、5つの分野(地球環境, 廃棄物, 自然環境, 生活環境, 人づくり)において、**基本施策ごとに設定している施策指標及び構成事業について評価し**, その評価に基づき、**基本施策の総合評価**を行う。
- ・「実行計画(区域施策編, 事務事業編)」については、**施策指標等の進捗状況**を評価する。

■環境基本計画の評価

項目 \ 評価	A	B	C
① 施策指標	100%以上	70%以上100%未満	70%未満
② 構成事業	「計画以上」が2以上	「計画どおり」が4以上	「計画より遅れ」が2以上
(構成事業が3つ以下の場合)	「計画以上」が1以上	「計画どおり」が構成事業数と同数	「計画より遅れ」が1以上
総合評価 (①+②)	上記①②の合計により判定		
	達成	概ね達成	未達
	AまたはBが1つ以上	Bが2つまたはAとCが1つずつ	Cが2つまたはBとCが1つずつ

■実行計画の評価

評価	A	B	C
達成度 (評価基準)	100%以上	70%以上 100%未満	70%未満

2 「宇都宮の環境(環境状況報告書)」について ※R7実績

【分野 1 地球環境の評価】 (基本施策数 8 : 達成 4, 概ね達成 3, 未達 1)

基本施策, 施策指標	R1基準値	R7実績	R7目標値	施策指標評価	構成事業評価	総合評価
1-1-1: 家庭における低炭素化の促進 指標: 市民1人当たりの温室効果ガス排出量	3.58t-CO2 (H30)	2.75t-CO2 (R5)	2.75t-CO2 (R5)	A (100%)	B (計画どおり)	達成
1-1-2: 事業所における低炭素化の促進 指標: 事業者の温室効果ガス排出量	223.6万t-CO2 (H30)	198.3万t-CO2 (R5)	196.4万t-CO2 (R5)	B (99%)	B (計画どおり)	概ね達成
1-1-3: 市役所における低炭素化の促進 指標: 市有施設における温室効果ガス排出量	91,874t-CO2	71,073t-CO2 (R6)	78,896t-CO2 (R6)	A (100%以上)	B (計画どおり)	達成
1-2-1: 創エネルギー・蓄エネルギーの普及促進 指標: 太陽光発電設備導入世帯数	17,957世帯	24,390世帯 (暫定)	24,000世帯	A (100%以上)	B (計画どおり)	達成
1-2-2: 地域のポテンシャルを生かした新たなエネルギーの活用 指標: 冷熱エネルギーを活用した事業への参入者数	6事業者 (R2)	7事業者	10事業者	B (70%)	B (計画どおり)	概ね達成
1-3-1: 環境負荷の少ない都市整備 指標: 地域新電力による温室効果ガス削減量	-	14,711t-CO2	7,800t-CO2	A (100%以上)	B (計画どおり)	達成
1-3-2: エコで便利な交通体系の構築 指標: 公共交通夜間人口カバー率	91.9%	93.8%	97.5%	B (96%)	B (計画どおり)	概ね達成
1-3-3: 気候変動への適応策の推進 指標: 適応をテーマとした出前講座等の数	-	1回	10回	C (10%)	B (計画どおり)	未達

【評価】

- 太陽光発電設備の導入促進や、宇都宮ライトパワー(株)による再生可能エネルギーの地産地消の推進などにより、一部の基本施策を除き、評価は「達成」「概ね達成」となった。
- 「市民1人当たりの温室効果ガス排出量」及び「事業者・市有施設における温室効果ガス排出量」について着実に削減されているものの、実行計画(R6年2月策定)において新たな削減目標を設定しており、**2030年度の目標達成に向けさらなる削減**が求められる。

2 「宇都宮の環境(環境状況報告書)」について ※R7実績

【分野2 廃棄物の評価】（基本施策6：達成4，概ね達成1，未達1）

基本施策，施策指標	R1基準値	R7実績	R7目標値	施策指標評価	構成事業評価	総合評価
2-1-1：普及啓発の推進 指標：ごみ分別アプリ「さんあ〜る」のダウンロード数	26,463件	70,196件	51,000件	A (100%以上)	B (計画どおり)	達成
2-1-2：発生抑制・再使用の促進 指標：市が実施したフードドライブの参加者数	121人	898人	400人	A (100%以上)	B (計画どおり)	達成
2-2-1：資源循環利用の推進 指標：市が主体となって取り組む廃棄物系バイオマスの資源化量	514t	1,274t※見込値	1,500t	B (84%)	B (計画どおり)	概ね達成
2-2-2：各主体による資源化の促進 指標：市民から依頼のあった分別講習会と出前講座の開催件数	67回	48回	70回以上	C (68%)	B (計画どおり)	未達
2-3-1：適正な収集・処分体制の推進 指標：行政収集等実施率	100%	100%	100%を維持	A (100%)	B (計画どおり)	達成
2-3-2：不法投棄の未然防止・拡大防止 指標：不法投棄の事案の解決率	97.8%	99.2%	98%	A (100%以上)	B (計画どおり)	達成

【評価】

- 分別講習会や新聞折込チラシなど様々な機会・媒体を活用した周知啓発による，ごみの発生抑制・再使用の促進や資源循環利用の推進，適正な収集・処分体制の推進や，不法投棄の未然防止などにより，一部の基本施策を除き，評価は「達成」「概ね達成」となった。
- 「分別講習会と出前講座の開催件数」は目標値を下回っていることから，令和9年度からのプラスチック製品の資源化に向け，各開催回数の拡大を図るなど，**さらなる分別の定着・徹底**が求められる。

2 「宇都宮の環境(環境状況報告書)」について ※R7実績

【分野3 自然環境の評価】（基本施策7：達成0，概ね達成5，未達2）

基本施策，施策指標	R1基準値	R7実績	R7目標値	施策指標評価	構成事業評価	総合評価
3-1-1：生物多様性保全に関する意識の醸成 指標：「生物多様性」の言葉の意味を知っている市民の割合	33.6% (R2)	42.4%	75%	C (56%)	B (計画どおり)	未達
3-1-2：生きものとその生息・生育環境の保全の推進 指標：外来種の影響に関する認知度	64.8% (R2)	84.4%	90%	B (93%)	B (計画どおり)	概ね達成
3-2-1：農地等の多面的機能の維持向上 指標：市内農地における環境保全活動カバー率	39.3%	39.0%	80%	C (48%)	B (計画どおり)	未達
3-2-2：都市の緑の保全と創出 指標：緑地保全・緑化推進に係る活動箇所数	301箇所	317箇所	358箇所	B (88%)	B (計画どおり)	概ね達成
3-2-3：水資源の確保 指標：雨水貯留施設等設置費補助件数	378件	1,737件	2,103件	B (82%)	B (計画どおり)	概ね達成
3-2-4：河川環境の保全と創出 指標：河川の整備率	62.2% (R2)	65.9%	66.6%	B (98%)	B (計画どおり)	概ね達成
3-2-5：良好な景観の保全と創出 指標：景観形成重点地区等の指定数	7地区	9地区	11地区	B (81%)	B (計画どおり)	概ね達成

【評価】

- ・ 自然環境保全対策などの生きものとその生息・生育環境や，都市の緑の保全などを推進してきたことから，一部の基本施策を除き，評価は「概ね達成」となった。
- ・ 「生物多様性の言葉の意味を知っている市民の割合」等は，目標値を下回っていることから，各世代に応じた情報発信や自然観察会等を通じ，生物多様性への認知度向上を図るなど，**自然と共生したまちづくりに向けた取組**が求められる。

2 「宇都宮の環境(環境状況報告書)」について ※R7実績

【分野4 生活環境の評価】（基本施策8：達成3，概ね達成5，未達0）

基本施策，施策指標	R1基準値	R7実績	R7目標値	施策指標評価	構成事業評価	総合評価
4-1-1：大気汚染状況の監視 指標：光化学オキシダントの環境基準達成率	92.7%	92.9%	100%	B (92%)	B (計画どおり)	概ね達成
4-1-2：水質汚濁状況の監視 指標：河川水の生物化学的酸素要求量に係る基準達成率	94.4%	83.3%	100%	B (83%)	B (計画どおり)	概ね達成
4-1-3：騒音振動の調査 指標：自動車騒音に係る環境基準達成率	93.8%	97.1%	100%	B (97%)	B (計画どおり)	概ね達成
4-1-4：放射線や化学物質の調査 指標：ダイオキシン類の環境基準達成率	100%	100%	100%を維持	A (100%)	B (計画どおり)	達成
4-2-1：工場・事業場の監視・指導 指標：工場・事業場における排出基準超過件数	6件	0件	0件	A (100%)	B (計画どおり)	達成
4-2-2：事業者等への意識啓発 指標：良好な生活環境の確保に係る市民満足度	35.7% (R2)	35.8%	40.7%	B (87%)	B (計画どおり)	概ね達成
4-2-3：自動車排出ガス対策の充実 指標：電気自動車補助件数	5件	666件	500件	A (100%以上)	B (計画どおり)	達成
4-3-3：生活排水対策の充実 指標：生活排水処理人口普及率	98.7%	99.4%	100%	B (99%)	B (計画どおり)	概ね達成

【評価】

- 大気・水質・騒音・化学物質に関する環境監視や工場や事業場への立入検査や指導などにより，評価は「達成」「概ね達成」となった。
- 引き続き，法令に基づく環境調査や監視・指導の実施のほか，事業者の意識啓発を図るなど，**市民の良好な生活環境の確保**が求められる。

2 「宇都宮の環境(環境状況報告書)」について ※R7実績

【分野5 人づくりの評価】（基本施策6：達成2，概ね達成3，未達1）

基本施策，施策指標	R1基準値	R7実績	R7目標値	施策指標評価	構成事業評価	総合評価
5-1-1：市民総ぐるみによるもったいない運動の推進 指標：もったいない運動の認知度	48.9%	68.1%	60%	A (100%以上)	B (計画どおり)	達成
5-1-2：もったいない運動を取り入れたイベントの開催 指標：もったいない運動を取り入れたイベントの割合	100%	100%	100%を維持	A (100%)	B (計画どおり)	達成
5-2-1：環境学習の場と機会の提供 指標：環境学習センター開催講座の平均満足度	83.2%	86.7%	100%	B (86%)	B (計画どおり)	概ね達成
5-2-2：地域における環境保全活動を担う人材の育成 指標：環境出前講座開催数	42回	44回	45回	B (97%)	B (計画どおり)	概ね達成
5-3-1：各主体による環境配慮行動の推進 指標：もったいない運動の実践率	32.0%	36.4%	60%	C (60%)	B (計画どおり)	未達
5-3-2：多様な活動主体間の連携促進 指標：環境学習センターの利用件数	887件	828件	890件	B (93%)	B (計画どおり)	概ね達成

【評価】

- 本市独自の「もったいない運動」の推進や，環境学習センターにおける講座やイベントの実施等により，一部の基本施策を除き，評価は「達成」「概ね達成」となった。
- 「もったいない運動の実践率」については，目標値を下回っている状況にあることから，若年層をはじめ各世代に応じた効果的な情報発信を行い，環境問題に対する「もったいない」の意識醸成を図るなど，**自ら学び・自ら行動する人づくりの効果的な推進**が求められる。

2 「宇都宮の環境(環境状況報告書)」について ※R7実績

(3) 「第3次宇都宮市環境基本計画後期計画」の評価結果について

- ・ 生物多様性の認知度や環境保全活動カバー率, もったいない運動実践率など, 一部目標値に届かず, 「未達」となった基本施策もあるが, **構成事業全体の評価はすべて「B評価(計画通り)」であった。**
- ・ また, 温室効果ガス排出量の削減や太陽光発電設備の導入, ごみ分別アプリ普及など, 多くの指標で目標達成または推進が見られ, 各分野における評価のうち, **約9割は「達成」または「概ね達成」であったことから, 概ね計画通りに進捗したものと評価**できる。

分野	達成	概ね達成	未達
地球環境	4	3	1
廃棄物	4	1	1
自然環境	0	5	2
生活環境	3	5	0
人づくり	2	3	1
合計	13	17	5

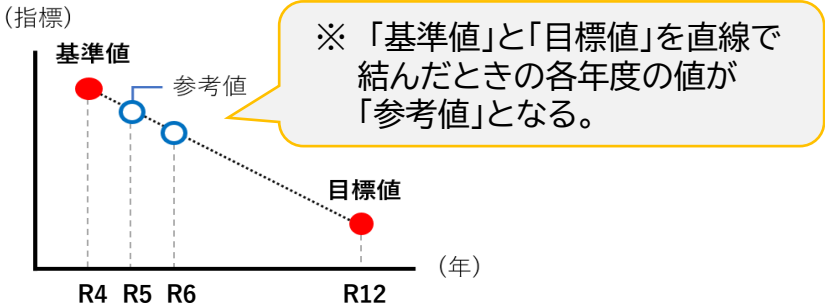
2 「宇都宮の環境(環境状況報告書)」について ※R7実績

(4) 「宇都宮市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」の評価結果について

各指標の評価については、
約8割がAまたはBであり、
計画全体としては概ね計画通りに
進捗していると評価できる。

プロジェクト指標

	A	B	C
プロジェクト指標	1	1	1
成果指標	1	4	0
施策指標	7	7	4
合計	9	12	5



プロジェクト名	指標	R7実績	R7参考値	評価
スマート&ゼロカーボンムーブ	公共交通の年間利用者数(年)	3,633万人(R6)	2,873万人(R6)	A(100%以上)
再生可能エネルギー最大限導入・活用	宇都宮ライトパワー株式会社の取扱再エネ電力量(年)	12,900MWh	14,000MWh	B(92%)
カーボンニュートラルなまちづくり	脱炭素先行地域計画の進捗率 (民生部門の電力消費量のうちCO2排出実質ゼロとなった割合)(年)	34%	85%	C(40%)

■C評価となった指標

「脱炭素先行地域計画の進捗率」

令和7年度は、民間施設等への再エネ設備導入時期の変更及び再生可能エネルギーの未供給により、参考値を下回る結果となった。今後は、事業最終年度(R9)の目標達成に向け、再エネ設備を最大限導入するとともに、宇都宮ライトパワー株式会社による再生可能エネルギー供給により、民生部門の電力消費に伴うCO2排出実質ゼロに取り組んでいく。

成果指標

※は見込値

施策	指標	R7実績	R7参考値	評価
1・2 自立分散型エネルギーの普及促進・ 環境にやさしいまちづくり	市民1人当たりの温室効果ガス排出量(年)	2.75t-CO2(R5)	2.68t-CO2(R5)	B(97%)
	事業者の温室効果ガス排出量(年)	198.3万t-CO2(R5)	181.2万t-CO2(R5)	B(91%)
	市有施設における温室効果ガス排出量(年)	71,073t-CO2	64,400t-CO2(R6)	B(90%)
3 循環型社会の形成	一人1日当たり家庭ごみ排出量(資源物以外)	510g ※	540g	A(100%以上)
4 環境配慮行動の推進	もったいない運動の実践率(年)	36.4%	40.4%	B(90%)

2 「宇都宮の環境(環境状況報告書)」について ※R7実績

施策指標

施策		指標	R7実績	R7参考値	評価
1-1	家庭における脱炭素化の促進	ZEHの補助件数(累計)	310件	249件	A(100%以上)
1-2	事業所における脱炭素化の促進	SBT認定補助件数(累計)	63件	44件	A(100%以上)
1-3	市役所における脱炭素化の促進	全館LED化施設数(累計)	109施設	164施設	C(66%)
1-4	創エネルギー・蓄エネルギーの普及促進	太陽光発電設備導入世帯数(累計)	24,390世帯(暫定)	36,501世帯	C(66%)
1-5	地域ポテンシャルを生かした新たなエネルギーの活用	冷熱エネルギーを活用した事業への参入者数(累計)	7事業者	8事業者	B(87%)
2-1	環境負荷の少ない都市整備	地域新電力による温室効果ガス削減量(累計)	14,711t-CO2	7,800t-CO2	A(100%以上)
2-2	エコで便利な交通体系の構築	公共交通夜間カバー率(年)	93.8%	95.4%	B(98%)
2-3	農地等の多面的機能の維持向上	市内農地における環境保全活動カバー率(累計)	39.0%	42.2%	B(92%)
2-4	都市の緑の保全と創出	緑地保全・緑化推進に係るボランティア活動者数(年)	3,555人	3,852人	B(92%)
3-1	普及啓発の推進	ごみ分別アプリ「さんあ〜る」のダウンロード数(累計)	70,196件	51,000件	A(100%以上)
3-2	発生抑制・再使用の促進	市が実施したフードドライブの参加者数(年)	898人	700人	A(100%以上)
3-3	資源循環利用の推進	市が主体となって取り組む廃棄物バイオマスの資源化量(年)	1,274t※見込値	1,500t	B(84%)
3-4	市民・事業者主体による資源化の推進	市民から依頼のあった分別講習会と出前講座の開催回数(年)	48回	70回以上	C(68%)
4-1	市民総ぐるみによるもったいない運動の推進	もったいない運動の認知度(年)	68.1%	53.1%	A(100%以上)
4-2	環境学習の場と機会の提供	環境学習センター開催講座の平均満足度(年)	86.7%	89.4%	B(96%)
4-3	各主体による環境配慮行動の推進	みやエコ・アクション・ポイント事業の参加人数(累計)	5,490人	11,250人	C(48%)
4-4	多様な活動主体間の連携促進	環境学習センターの利用件数(年)	828件	799件	A(100%以上)
5-1	気候変動への適応策の推進	「適応」に関する内容を含む環境出前講座等の回数(年)	44回	45回	B(97%)

2 「宇都宮の環境(環境状況報告書)」について ※R7実績

■C評価となった指標

「全館LED化施設数(累計)」

- ・ 令和7年度は、市有施設への一括導入に向け、導入手法検討調査の結果(R6実施)を踏まえ、官民連携を含めた様々な手法の比較・検討を進めている中、導入施設は12施設に留まった。
- ・ 今後は、導入規模やスケジュール等も含め、様々な視点から効率的な導入に向け取り組んでいく。

「太陽光発電設備導入世帯数(累計)」

- ・ 太陽光発電設備導入世帯数については、目標値を下回っているものの、設備導入に対する補助事業の拡充や普及啓発に積極的に取り組むほか、近年の電気代高騰による太陽光発電への関心の高まりなどにより、本市における導入状況は年々増加しており、FIT制度(10kW未満)における新規認定分の太陽光発電設備導入件数及び導入容量は中核市1位となっている。
- ・ 引き続き、これまで拡充してきた補助事業を実施し、導入促進を図る。

「市民から依頼のあった分別講習会と出前講座の開催回数(年)」

- ・ 市ホームページや広報紙などによる講習会等の周知やリサイクル推進員を通じた開催機会の拡充に取り組んだものの、令和7年度は参考値を下回る結果となった。
- ・ 令和9年度からプラスチック製品の資源化を開始することから、分別講習会を活用して新たな分別ルール of 周知を行い、分別講習会の開催回数の拡大を図っていく。

「みやエコ・アクション・ポイント事業の参加人数(累計)」

- ・ 令和7年度は、利用者増加に向けて各種キャンペーンに取り組み、また、各種イベントにおいて周知啓発を実践したところであり、着実に参加人数は増えているものの、参考値を下回る結果となった。
- ・ 今後は、利用者のニーズと動向を分析しながら、魅力的なキャンペーンの実施や、アクションの見直しを行い、環境意識の醸成や行動変容を促していく。

2 「宇都宮の環境(環境状況報告書)」について ※R7実績

(5) 「宇都宮市役所カーボンニュートラル実行計画」の評価結果について

各指標の評価については、約7割がAまたはBであり、計画全体としては概ね計画通りに進捗していると評価できるが、一部の施策については、進捗が遅れていることから、目標達成に向け、取組を加速化させる必要がある。

	A	B	C
施策指標	2	3	2

【基本施策1】市有施設等における脱炭素化の推進

施策	指標	R7実績	R7参考値	評価
1 省エネ設備等の導入による省エネルギーの推進	全館LED化施設数(累計)	109施設	164施設	C(66%)
2 再エネ設備の導入による創エネルギーの推進	市有施設等における太陽光発電設備設置容量(累計)	961kW	5,086kW	C(18%)
3 再エネ電力の調達等による脱炭素化	電力使用量における「再エネ100%電力」供給割合	26.6% ※	38%	B(70%)
4 燃料使用量の削減	公用車の電動車化率	49.6%	55%	B(90%)
5 各種調達における脱炭素化の推進	グリーン調達達成率	94.5% ※	86%	A(100%以上)

【C評価となった指標】

「全館LED化施設数」

令和7年度は、市有施設への一括導入に向け、導入手法検討調査の結果(R6実施)を踏まえ、官民連携を含めた様々な手法の比較・検討を進めている中、導入施設は12施設に留まった。今後は、導入規模やスケジュール等も含め、様々な視点から効率的な導入に向け取り組んでいく。

「市有施設等における太陽光発電設備設置容量」

令和6年度に実施した導入可能性調査の結果、事業の成立性が確認できた施設は当初想定を下回り、導入可能な施設が減少したことで、参考値を下回る結果となった。引き続き、導入可能な施設については、所管課等との調整の上、順次導入していくほか、ペロブスカイト太陽電池等の技術革新の動向を踏まえながら、設備導入の検討を進めていく。

【基本施策2】ごみ減量化の推進

施策	指標	R7実績	R7参考値	評価
1 ごみの減量化・資源化の推進	ごみの最終処分量	17,132t ※	17,673t	A(100%以上)

※は見込値

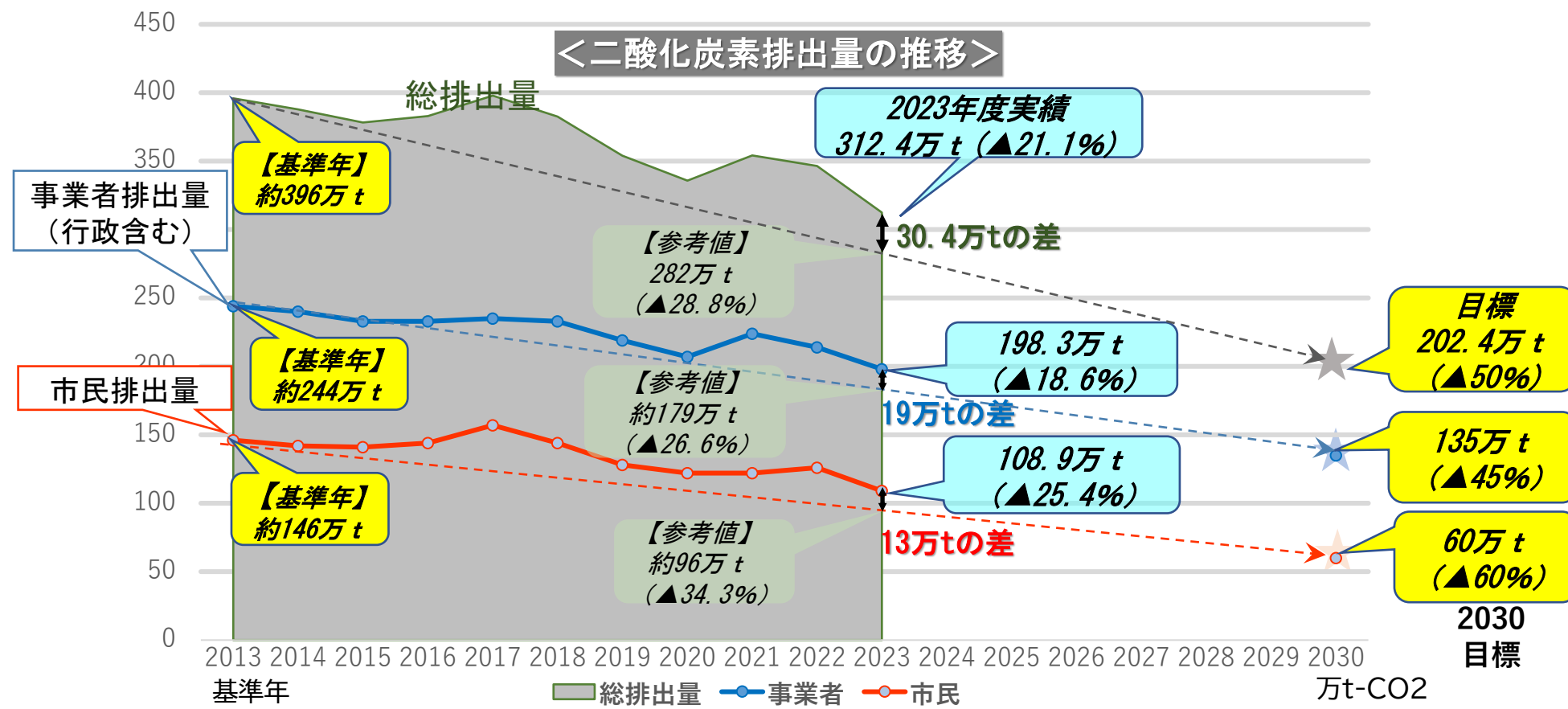
【基本施策3】職員の脱炭素型ワークスタイルの徹底

施策	指標	R7実績	R7参考値	評価
1 「もったいないEMS」による一体的な環境管理の推進	エコ通勤実施率	84%	100%	B(84%)

【参考】主体別の二酸化炭素排出量の推移(市民・事業者) ※R5実績



- 主体別の排出量は、市民分が▲25.4%、事業者分は▲18.6%となった。
- 総排出量は、基準年からは▲21.1%であり前年度(▲12.5%)と比較して、削減率が増加している。これは、**2022年度に「宇都宮市カーボンニュートラルロードマップ」を策定したことにより、再エネ設備の導入や環境配慮行動が促進されるなど、脱炭素の取組が加速化したものと考えられる。**
- 依然として参考値との乖離があるものの、前年度からは34.1万t削減(▲9.7%)されており、この割合で 削減が進んだ場合、2028年度に目標達成となる見込みである。**



市ロードマップと同様の手法を用いて市民・事業者の排出量を推計

【事業者排出量】

- ①産業部門
- ②業務部門
- ③運輸部門の35%

【市民排出量】

- ①家庭部門
- ②運輸部門の65%

市民・事業者の計と総排出量の乖離5.2万tは市民・事業者への振り分けが困難な廃棄物部門分

【参考】主体別の二酸化炭素排出量の推移(行政) ※R6実績

- ・ 2024年度と2023年度を比較すると、二酸化炭素排出量が**0.34万tの減少**(約5.1%減)となっている。
(2024年実績は参考値と比較として、**1.07万tの乖離**となる。)
- ・ 減少の主な要因としては、市有施設における**太陽光発電設備等の導入**や、**宇都宮ライトパワーから二酸化炭素の排出が少ない電力の供給を受けた**ことがあげられる。

